

令和 5 年度 60 回生 授業概要（シラバス）

科目名	小児看護援助論Ⅰ	分野/教育内容	専門分野/小児看護学
開講年次・時期	2 年前半 令和 5 年 4 月 10 日	単位数/時間	1 単位/30 時間
担当講師名	黒澤 秀子	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
	岩舘 陽子	所属・役職	岩手県立療育センター・看護師長
		資格・免許	看護師
	大向 幸男	所属・役職	岩手県宮古児童相談所・所長
		資格・免許	公認心理士・臨床心理士
	鈴木 幸子	所属・役職	岩手県宮古児童相談所
		資格・免許	保健師
授業の概要	日本の子どもと家族を取り巻く社会の変遷を学び、現代の子どもと家族が地域で健康に生活するために必要な支援について学ぶ		
到達目標	1. 子どもが健やかに生まれ育つことを支えるための児童福祉・母子保健など施策について理解する 2. 学童期の子どもの健康を維持するための保健指導の目的、方法について理解する 3. 児童虐待の現状と対策について理解する 4. 障がいを持つ子どもと家族への支援について理解する		
事前学習内容	学童期の子どもの罹患率の高い疾患と対策について予習する		
成績評価の方法	黒澤：筆記試験（55 点）、保健指導の実践評価（5 点） 鈴木：筆記試験（10 点） 大向：レポート評価（10 点） 岩舘：レポート評価（20 点）		
使用テキスト	専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 医学書院 国民衛生の動向 2021/2022 厚生労働統計協会		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	講師名	授業形態
第 1 回	授業概要説明 第 8 章 子どもと家族を取り巻く社会 児童福祉	黒澤	講義
第 2 回	第 8 章 子どもと家族を取り巻く社会 母子保健 医療費 予防接種	黒澤	講義
第 3 回	第 8 章 子どもと家族を取り巻く社会 学校保健ほか	黒澤	講義
第 4 回	学校保健と保健指導①	黒澤	講義
第 5 回	保健指導② 保健指導計画書の作成	黒澤	講義 グループワーク
第 6 回	在宅ケア移行への支援 多職種の役割 カンファレンス	黒澤	講義
第 7 回	小児訪問看護の実際	黒澤	講義

第 8 回	小幼保連携・地域との連携	黒澤	講義
第 9 回	保健指導③ 教材作り	黒澤	講義 グループワーク
第 10 回 第 11 回	保健指導④ 保健指導発表会	黒澤	発表会
第 12 回	児童虐待の現状と対策①	大向	講義
第 13 回	児童虐待の現状と対策②	鈴木	講義
第 14 回 第 15 回	障がいを持つ子どもと家族の看護	岩舘	講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 2 回からの講義日程は、変更となる場合があります、外部講師の講義は順不同となることがある。 ・法の改正と、社会背景を結び付けて考えることができるように学習を深める。テキストの範囲は狭いが、子どもを取り巻く社会背景や現代における問題なども学習しておく。 ・わからない言葉などはそのままにせず、自分で調べ学習を行い知識となるように努力する ・保健指導の指導案は、学童期の発達段階をふまえ、実践できる内容をグループで協力して作成する。 ・指導案や教材の作成はグループで協力しながら実施する。 		

令和 5 年度 60 回生 授業概要（シラバス）

科目名	小児看護援助論Ⅱ	分野/教育内容	専門分野/小児看護学	
開講年次・時期	2 年前期 令和 5 年 5 月 16 日	単位数/時間	1 単位/30 時間	
	黒澤 秀子	所属・役職	専任教員	
		資格・免許	看護師	
授業の概要	子どもの健康問題・障害が子どもに与える影響について学ぶ 子どもの主要疾患の看護の特徴・疾患をもつ小児の看護上の問題を把握し健康レベルに応じた看護について学ぶ			
到達目標	1. 子どもの健康問題が、子どもの成長・発達に及ぼす影響について理解する 2. 子どものアセスメントに必要な技術について理解し、さまざまな状況の子どもと家族に必要な援助について理解する 3. 検査、処置を受ける子どもへの看護や技術や方法について理解する			
事前学習内容	1. 小児の発達段階の特徴（形態的、精神的、社会性）について復習する 2. 小児の疾患の病態、診断、治療について復習する			
成績評価の方法	筆記試験			
使用テキスト	医学書院 系統看護学講座「小児看護学概論・小児臨床看護総論」 医学書院 系統看護学講座「小児臨床看護各論」 メディカ出版 母性看護学②「母性看護の実践」			
授業回数	授業概要(主な学習内容)	講師	授業形態	使用テキスト
第 1 回	オリエンテーション 病気・障害が子どもと家族に与える影響 子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護	黒澤	講義	小児看護学概論・ 小児臨床看護総論
第 2 回	症状を示す子どもの看護・子どものアセスメント	黒澤	講義	
第 3 回	症状を示す子どもの看護・子どものアセスメント	黒澤	講義グループ ワーク	
第 4 回	検査・処置を受ける子どもの看護	黒澤	講義	
第 5 回	子どもの救命処置	黒澤	講義 演習	
第 6 回	代謝性疾患と看護 内分泌性疾患と看護	黒澤	講義	小児臨床各論
第 7 回	循環器疾患と看護、消化器疾患と看護	黒澤	講義	
第 8 回	呼吸器疾患と看護 感染症と看護	黒澤	講義	
第 9 回	事例を考える	黒澤	講義	小児臨床看護総論

[ここに入力]

令和 5 年度 60 回生 授業概要 (シラバス)

第 10 回	事例を考える		グループワーク	
第 11 回	悪性新生物疾患と看護、血液造血器疾患と看護	黒澤	講義	小児臨床各論
第 12 回	看護過程・ロールプレイ	黒澤	講義 演習	小児看護学概論・
第 13 回				小児臨床看護総論 小児臨床各論
第 14 回 第 15 回	新生児の異常と看護		講義	母性看護の実践 小児臨床各論
<ul style="list-style-type: none"> ・授業でテキストのすべてを網羅することはできないため、各自でテキストの範囲を読み込んでおく ・子どもの状況を根拠を持ちアセスメントするためには疾病の病態生理を理解することが大切である。今までの履修した疾患については復習する ・授業で疑問に思ったことは、講師に積極的に質問しそのままにしない。ただし、自分でも調べることを怠らない 				

[ここに入力]